

# 令和3年度学校自己評価システムシート (県立小川高等学校 定時制の課程)

目指す学校像 基礎学力を向上させ、豊かな心と自主的精神を育み、生きる力を伸ばす学校

重点目標

- 1 分かる授業に向けた授業改善と個に応じた学習指導により、基礎学力の向上を図る。
- 2 基本的な生活習慣の確立と個に応じた生徒指導・進路指導により、自立した自己の実現を図る。
- 3 開かれた学校として地域と連携し、学校行事と体験学習の充実により、豊かな心を育む。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>【現状】 義務教育段階から学校生活になじめず、学習面での課題を抱える生徒が多く、学力差も大きい。</p> <p>【課題】 生徒が意欲的に授業をはじめとする学校生活に取り組むようきめ細かい指導を粘り強く行う必要がある。</p>	きめ細かい指導による「分かる授業」の実践力を高める。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業公開を行い、教科の枠を超えた教科指導力の向上を図る。</li> <li>②ICT機器の効果的な活用方法を工夫し、共有する。</li> <li>③「総合的な探究の時間」では学年を超えたグループ活動により、学習への意欲を向上させる。</li> <li>④0時間目や長期休業中の補習により、生徒の個に応じた学力向上を図る。</li> <li>⑤表現力を養うため、生徒会文集や各学期の振り返りの文章を作文する。</li> <li>⑥感染症対策を継続して実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業公開、職員研修の実施</li> <li>②ICT機器の活用方法のまとめと共有</li> <li>③「総合的な探究の時間」の成果の共有</li> <li>④補習等の実施、欠点の状況</li> <li>⑤生徒会文集の作成、振り返り作文の実施</li> <li>⑥健康観察、手洗い・消毒、マスク着用等の指導の継続実施</li> </ol>		
2	<p>【現状】 学校生活を柱に落ち着いて取り組む生徒も多いが、複雑な生活環境下で課題を抱える生徒も増えている。</p> <p>【課題】 多様な生徒へのきめ細かい指導を行うため、外部機関の協力を得ながら個々の生徒への支援を行う必要がある。</p>	外部機関と連携し組織的な対応をする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①特別支援教育巡回支援員と連携し、個々の生徒への支援の充実及び校内支援体制の強化に取り組む。</li> <li>②多文化共生推進員を活用し、言語に起因する学校生活上の課題のある生徒を支援する。</li> <li>③SC、SSWと連携し、教育相談体制を充実させる。</li> </ol>	個別の生徒への対応を主とした評価項目なので、①～③実施回数及び成果をまとめる。		
		4年間を見通した進路指導を充実させる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①就労支援の充実 ・進路アンケートや進路ガイダンスの活用 ・自立支援事業を活用したキャリア学習実施 ・就職支援アドバイザー、就労支援センター等との連携</li> <li>②進学意識の向上 ・進路ガイダンスや進路体験発表会の実施 ・奨学金等の情報提供の充実</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①アンケートの結果 ガイダンス等の実施回数 外部機関との連携回数</li> <li>②ガイダンスの実施回数</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①②進路決定者数</li> </ol>		
3	<p>【現状】 学校行事等の特別活動では生徒間で参加意欲に差がある。 PTA活動では協力的な雰囲気があり連携を深めている。</p> <p>【課題】 生徒会を中心とした生徒主体の行事運営により、生徒のコミュニケーション力を高めていく必要がある。 保護者はもとより学校外へ本校定時制の魅力の発信に継続して取り組む必要がある。</p>	行事参加における満足度を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒会を中心とした行事運営と内容の工夫・改善に取り組み、積極的な参加を促す。</li> <li>②LHRや学校行事の実施内容を検討する。</li> <li>③PTAニュースの発行、HP掲載を行い、PTA活動を一層活性化させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①各行事のアンケートにみる生徒の満足度</li> <li>②実施内容の検討</li> <li>③PTAニュースの発行回数 HPへの掲載</li> </ol>		
		本校の姿を周囲に示し、定時制教育の理解を促す。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①HPによる本校の取組の情報発信を積極的に行う。</li> <li>②学校説明会、中学校訪問等をとおして、本校の取組を周知し、定時制の良さを理解してもらう。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①HPの更新状況や更新内容</li> <li>②説明会の実施状況 中学校等への訪問状況</li> </ol>		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		